

系統連系申請参考資料 (関西電力)

パワーステーション

※系統連系申請書類につきましては、電力会社様より申請者の方が必ず原本を入手
くださいますようお願いいたします。

※参考記入例の電力申請資料は、お取寄せいただいた電力申請資料と書式が異なる
場合がありますが、同様の記入項目に記載例を基に記入してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社

申込者さまの情報

現在地

1 必須

サイバーセキュリティ対策に関する同意事項をご確認のうえ、選択ください。

●記入にあたってのお願い

1、2

下記をお守りいただき✓を選択して下さい。

・弊社製出力制御装置をインターネットに接続する場合は、必ずルーターを利用して下さい。

その際、不正な外部指示や機器の操作の影響が無いように、ルーターのセキュリティやパスワードを適切に設定して下さい。
取扱いの詳細はルーターの取扱説明書を参照して下さい。

・なお、ルータ等のネットワークセキュリティに関する技術情報については、ルーターメーカーにお問合せください。

■サイバーセキュリティ対策に関する同意事項

サイバーセキュリティ対策に関する同意事項

□ 系統連系技術実用化に伴うサイバーセキュリティ対策を実施します。

※当申請で、発電設備の新設又は設備変更（PCS取替）が行われる場合は、以下の対策を実施することに同意します。

上記にあたらぬ場合（パネル増設など）は、次回設備変更を実施される場合に以下の対策を実施することに同意願います。

1. 外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策

2. 発電設備の制御に係るシステムには、マルウェアの侵入防止対策

3. 発電設備に関するセキュリティ管理責任者の設置

連絡事項欄へセキュリティ管理責任者の【氏名】【連絡先】を入力ください。

入力が無い場合は、セキュリティ管理責任者は発電者と同一とします。

■連絡事項

連絡事項
(金角)

戻る 入力クリア 一時保存 次へ

3 発電事業者様でご判断をお願いします。

! 任意

ご連絡事項がある場合は、
こちらに入力してください。

2 必須

必要な情報がすべて入力されていることを確認の上、
「次へ」をクリックしてください。

太陽光発電設備の情報

電力購入契約申込書 兼 系統連系に関する申込書（低圧）＜シンセツくん＞

契約基本情報

申込者情報

再生エネルギー設備の情報

自家発電設備の情報

技術検討資料

書類の添付

申込内容の確認

申込完了

1 必須

更新区分を選択してください。

受給最大電力

再生エネルギー設備を入力してください。

※再生エネルギー取得制度に基づく設備認定を申請する発電設備内容と一致しているかを確認ください。
※竣工時期が異なる設備は別々にお申込み

2 必須

発電機（パネル）とパワーコンディショナ（PCS）の組み合わせが全て一致するセット数を入力してください。

4 必須

太陽電池の型番、種類、変換効率を入力してください。

3 必須

発電機（パネル）の公称最大出力（少数点以下第三位まで）と製造者を入力してください。

5 必須

パワーコンディショナ（PCS）のJET認証番号、定格出力（少数点以下第三位まで）、製造者（認証取得者）を入力してください。

7 必須

入力内容を確認の上、「次へ」をクリックしてください。

6 必須

発電設備を4台以上設置する場合は、「設備情報が4台以上ある場合」をクリックし、設備情報を登録してください。

更新区分		新設・容量変更		廃止		セット数	
設備情報1	公称最大出力	kW		製造者			
	太陽電池の種類						
	太陽電池の定格出力	%		高圧変換効率		実効変換効率	
	太陽電池の型式番号						
PCS	JET認証番号	別紙1_②参照		型式		別紙1_①参照	
	定格出力	別紙1_③参照		製造者		パナソニックエレクトリックワークス株式会社	
	新設・容量変更	☐		廃止		☐	
	セット数						
設備情報2	公称最大出力	kW		製造者			
	太陽電池の種類						
	太陽電池の定格出力	%		高圧変換効率		実効変換効率	
	太陽電池の型式番号						
PCS	JET認証番号			型式			
	定格出力	kW		製造者			
	新設・容量変更	☐		廃止		☐	
	セット数						

設備台数が4台以上ある場合

戻る

入力クリア

一時保存

次へ

技術検討資料（保護継電器整定値一覧表）

ブラウザの「戻る」「進む」「更新」ボタンは使用しないでください。正常に処理が行われない場合があります。

1 必須

絶縁用変圧器の有無を選択してください。

申込書（住）

自家用発電設備の情報

（前記入保率）

2 必須

OC付ELCBの極数と素子数を入力してください。

逆接続は「可」を選択してください。

戻る

入力クリア

一時保存

次へ

絶縁用変圧器

OC付ELCB

極数素子数

逆接続

可

不可

※ 本様式は、保護装置の型式毎に全ての項目を入力してください。
（同一型式を複数台設置される場合（セット登録されている場合）は1台のみ入力してください。）

■ PCS1

認証番号：ABC

保護継電器の種類	申請整定値	
	主リレー	タイマー
電力品質	OVR 標定値 115V(0.04kVA) 250V(0.04kVA) 検出レベル 115 V	標準値 1.0秒 検出時間 1.0 秒
	UVR 標定値 80V(0.01kVA) 150V(0.01kVA) 検出レベル 80 V	標準値 1.0秒 検出時間 1.0 秒
	CFR 標準値 0.12Hz(警報範囲に無い場合は0.12Hz) 検出レベル 別紙1_④参照	標準値 1.0秒(0.5秒でも可) 検出時間 1 秒
	UFR 標準値 0.8Hz(警報範囲に無い場合は0.8Hz) 検出レベル 別紙1_⑥参照	標準値 1.0秒(0.5秒でも可) 検出時間 別紙1_⑤参照
	RPR ※ 任意入力 標準値 発電設備出力の5%以下 検出レベル W	標準値 0.5秒 検出時間 秒
	UPR ※ 任意入力 標準値 標定容量電力の0%以下 検出レベル W	標準値 0.5秒 検出時間 秒
能動的方式	方式の種類 ステップ注入付周波数フィードバック方式 その他の場合	標準値 0.5秒以内 検出時間 秒以内
	検出レベル 1.2Hz 検出レベルは数値のみ入力ください。	

5 必須

自動電圧調整装置の機能を選択してください。

自動電圧調整装置

(電圧上昇抑制機能)

検電後の検出阻止時間

選相無効電力制御機能

出力制御機能

(有効電力制御)

別紙1_⑥参照

260秒

入力クリア

一時保存

次へ

6 必須

入力内容を確認の上、「次へ」をクリックしてください。

3 必須

各リレーの検出レベルと検出時間を選択してください。

OFRおよびUFRのタイマーが「0.6秒(固定)」の場合は、「0.5秒」を選択してください。

4 必須

単独運転防止機能について、方式の種類を選択の上、検出レベルを選択してください。検出レベルについては、メーカー出荷時整定から変更している場合に入力してください。

単独運転防止の検出レベルについては、「±0.0%」「0.0%」等と記載されていますが、数値のみ入力してください。

また、検出レベルが「-」の場合は「0」と入力してください。

能動的方式における方式の種類がステップ注入付周波数フィードバック方式(新型能動的方式)の場合は検出レベルの入力は不要です。

ステップ注入付周波数フィードバック方式(新型能動的方式)の場合、検出レベルの入力は不要です。

CO, INC. All Rights Reserved.

情報提供方針

この

！ 任意

複数台PCSを設置し、集合版で配線を結集している場合など、
本計算書の様式で計算できない場合は、チェックして次に進んで
ください。計算書は別途作成して添付してください。

- 以下に該当する場合は、左の□にチェックして次に進んでください。
- 本計算書では電圧上昇値が正しく計算できないため、計算書を別途添付する。（集合住宅等で複数台設置の可能性がある場合等）
 - 同容量型機器の取替と設定値に変更がないため、計算書の入力が必要ない。
 - 発電設備を全て撤去するため、計算書の入力が必要ない。

※ 複数台PCSを設置し、集合版で配線を結集している場合など、本計算書の様式では電圧上昇値を正確に計算できない場合、本計算書とは別添付し、本計算書の入力が必要ない。

※ 増設の場合で、既設のパワーコンディショナ（PCS）が設置されている場合は、設備全体での電圧上昇計算が必要となります。

計算のやり方 発電容量が4kW以上の場合

※ K1

電圧方式が単相2線式の場合 1※1、単相3線式100Vまたは単相3線式200Vの場合 2、三相の場合 3
※1 電圧降下と電圧降下の電圧を求めるため1としている。

電圧方式 1

b. 発電電流 I_g

【単相2線式100Vの場合】

【単相3線式100V/200Vの場合】

【三相の場合】

発電電流 I_g = 発電容量 P_g (kW) × 1000W / 100V

発電電流 I_g = 発電容量 P_g (kW) × 1000W / 210V

発電電流 I_g = 発電容量 P_g (kW) × 1000W / (√3 × 210V)

発電容量 (PCS容量) P_1

発電容量 (PCS容量) P_2

発電容量 (PCS容量) P_3

発電容量 (PCS容量) P_t

発電電流 I_{g1}

発電電流 I_{g2}

発電電流 I_{g3}

発電電流 I_{gt}

c. 引込口配線の抵抗値 R_a

■ 引込口配線の抵抗値 R_a (Ω) ※

電線径

電線太さ

ケーブル径 (mm/km)

長さ (m)

抵抗値 (Ω) (20℃) (25/1000)

引込口配線の抵抗値 R_a (Ω) ※

■ 屋内配線の抵抗値 R_b (Ω) ※

電線径

電線太さ

ケーブル径 (mm/km)

長さ (m)

抵抗値 (Ω) (20℃) (25/1000)

屋内配線の抵抗値 R_b (Ω) ※

電線径

電線太さ

ケーブル径 (mm/km)

長さ (m)

抵抗値 (Ω) (20℃) (25/1000)

屋内配線の抵抗値 R_b (Ω) ※

1 必須

電圧方式を選択してください。

単相2線式200V

電圧方式

b. 発電電流

【単相2線式100V】

【単相3線式100V/200V】

【三相2線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

【三相3線式200V】

3 必須

引込口配線の電線径の
太さを選択の上、直長を
入力してください。

4 必須

屋内配線の電線径の
太さを選択の上、直長を
入力してください。

【単相3線式及び単相2線式200Vの場合】 ----- 発電電流 $I_g = \text{発電容量 } P(\text{kW}) \times 1000\text{W} / 210\text{V}$
 【三相の場合】 ----- 発電電流 $I_g = \text{発電容量 } P(\text{kW}) \times 1000\text{W} / (\sqrt{3} \times 210\text{V})$

発電容量(PCS容量) P1	kW	発電電流 I_{g1}	A	-----	Qb 1
発電容量(PCS容量) P2	kW	発電電流 I_{g2}	A	-----	Qb 2
発電容量(PCS容量) P3	kW	発電電流 I_{g3}	A	-----	Qb 3
発電容量(PCS容量) Pt	kW	発電電流 I_{gt}	A	-----	Qb

c. 引込口配線の抵抗値 R_a -----

■ 引込口配線の抵抗値 R_a -----

電線路	A	B
電線太さ		
インピーダンス (Ω/km)	0.1	
互長(m)	(a)	
抵抗値(Ω) $(a \times 0.1) \times (2 \times 1000)$		

■ 屋内配線の抵抗値 R_b -----

電線路	C	D
電線太さ		
インピーダンス (Ω/km)	0.2	
互長(m)	(a)	
抵抗値(Ω) $(a \times 0.2) \times (2 \times 1000)$		

引込口配線+屋内配線 R_{ab} -----

電線太さ

インピーダンス (Ω/km)

互長(m)

抵抗値(Ω) $(a \times 0.2) \times (2 \times 1000)$

屋内配線の抵抗値 R_{ab} QbB

d. 電圧上昇値 V

$\Delta V_a = \frac{K1(Q) \times I_g(Qs) \times R_a(Qs)}{1000}$ V

$\Delta V_b = \frac{K1(Q) \times I_g(Qb) \times R_b(Qb)}{1000}$ V

$\Delta V_t = \Delta V_a + \Delta V_b$ V

e. AVRの整定値

PCS1での電圧値

PCS1でのAVR整定値

その他の場合

PCS2での電圧値

PCS2でのAVR整定値

その他の場合

PCS3での電圧値

PCS3でのAVR整定値

その他の場合

戻る 入力クリア 一時保存 次へ

2 必須
入力内容を確認の上、「次へ」をクリックしてください。

1 必須
PCSのAVR整定値を選択してください。
原則、計算値の直近上位の値を選択してください。ただし、屋根貸しの場合等、全量配線のY分岐で、発電事業者さまと需要場所のお客さまが異なる場合は直近下位の値を選択してください。

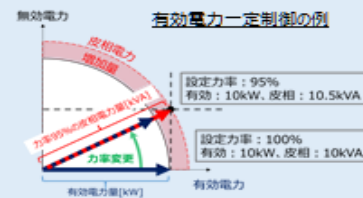
109.0V

107.0
107.5
108.0
108.5
109.0
109.5
110.0
214.0
215.0
216.0
217.0
218.0
219.0
その他

ご注意ください
電圧上昇値 (ΔV_t) が標準電圧の2% (100Vの場合は2V、200Vの場合は4V) を超える場合は、配線の選定見直しを検討してください。

図1太陽光発電設備の力率一定制御の設定(発電機から見て進相95%設定)が必要です※。

力率一定制御方式は、出力に一定比率で無効電力を注入する運転方式です。PSSには、「有効電力一定」又は「反相電力一定」で制御する機能があります。反相電力を増やす量は、電圧によってまちまちですので、詳細はメーカーさんで確認下さい。設備図説に示れる電流値を参考に与えられますが、電圧値は反相電力には関係するもので、反相電力の能力が必要となります。



※力率一定制御機能の概要、力率100%・95%における各容量(KVA、KW、KVA)は、仕様書やPCC製造メーカーさまに確認いただき、適切な値をご入力をお願いします。
※設定力率を「95%」、「力率設定変更」の可否不同、後日追加した選択された場合、「力率95%」における容量(KVA)を必ずご記入ください。
※設定力率を「力率設定変更」の可否不同、後日追加した選択された場合、お客様が前回の工事追加でこの機種の容量をご記入下さい。なお、容量がない場合、適宜でない可能性があります。また、容量によって「力率95%」における容量(KVA)が変更になる場合、工事費、負担金増額等が発生する場合があります。
※下欄の「状況」を選択すると容量に入力力率は、入力必須欄となります。

	状況	設定力率(%)	力率100%における 容量(kW)	【力率一定負荷採用時】 力率95%における 容量(kVA)	備考等
例	新設	95%	10	10.53	複数ある場合、器具番号等を入れて表別に活用ください
PCS1	新設	別紙1_⑦参照	別紙1_⑧参照	別紙1_⑨参照	
PCS2					
PCS3					
PCS4					
PCS5					
PCS6					
PCS7					
PCS8					
PCS9					
PCS10					
PCS11					
PCS12					
PCS13					
PCS14					
PCS15					
PCS16					
PCS17					
PCS18					
PCS19					
PCS20					
合計値			0.00	0.00	

②S型式・保証番号入力画面や電圧上昇の簡易計算画面に入力する機種番号と揃えてくだ

**<蓄電池有の場合>
たくそう君にて申請**

【関西電力 (たくそう君)】

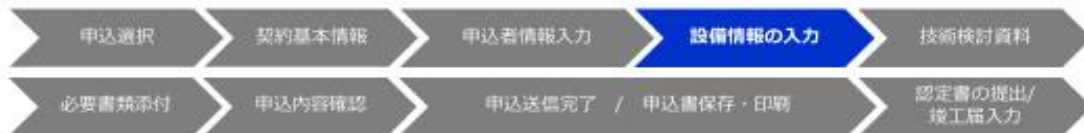
CHAPTER

お申込みの流れ 太陽光発電の新設

page 22

5

設備の情報



1 必須
更新区分を選択してください。

(低圧) <たくそう君>

■再生可能エネルギー発電設備を入力してください。

発電出力 kW

2 必須
発電機(パネル)とパワーコンディショナ(PCS)の組み合わせが一致するセット数を入力してください。

3 必須
発電機(パネル)の公称最大出力(小数点以下第三位まで)と製造者を入力してください。

4 必須
発電機の発電設備型式番号を入力してください。

5 必須
パワーコンディショナ(PCS)のJET認証番号、定格出力(小数点以下第三位まで)、製造者(認証取得者)を入力してください。

6 必須
発電設備を4台以上設置する場合は、「設備情報が4台以上ある場合」をクリックし、設備情報を登録してください。

7 必須
入力内容を確認のうえ、「次へ」をクリックしてください。

※ 竣工時間が異なる設備は別々にお申し込みください。

戻る 入力クリア 一時保存 次へ

※ 出力制限用機器の電圧を適切に入力してください。

5

技術検討資料(保護継電器整定値一覧表)

申込選択

契約基本情報

申込者情報入力

設備情報の入力

技術検討資料

必要書類添付

申込内容確認

申込送信完了 / 申込書保存・印刷

認定書の提出/
竣工届入力

1 必須

絶縁用変圧器の有無を選択してください。

2 必須

OC付ELCBの極数と素子数を入力してください。
逆接続は「可」を選択してください。

3 必須

各リレーの検出レベルと検出
時限を選択してください。
OFRおよびUFRのタイマーが
「0.6秒(固定)」の場合は、
「0.5秒」を選択してください。

4 必須

単独運転検出機能について、
方式の種類を選択の上、検出
レベルを選択してください。
検出レベルについては、メー
カー出荷時設定から変更して
いる場合に入力してください。
単独運転防止の検出レベルに
ついては、「±0.0%」
「0.0%」等と記載されてい
ますが、数値のみ入力してく
ださい。
また、検出レベルが「-」の
場合は「0」と入力してくだ
さい。
能動的方式における方式の種
類がステップ注入付周波数
フィードバック方式(新型能
動的方式)の場合は検出レベ
ルの入力是不要です。

5 必須

自動電圧調整装置の機能を選
択してください。

6 必須

入力内容を確認のうえ、
「次へ」を選択してください。

(※注) 保護継電器整定値一覧表

1 戻る 入力クリア 一時保存 次へ

絶縁用変圧器 ☒ 有 ☐ 無

OC付ELCB 2 極数素子数 ☐ 3P ☐ 4P ☐ 逆接続 ☐ 不可 ☒ 可

※ 本様式は、保護継電器の型式毎に全ての項目を入力してください。
(同一型式を複数台設置される場合(セッティングされている場合)は1台のみ入力してください。)

■ PCS1
認定番号:

保護継電器の種類	申請型番	
	リレー	タイマー
OVR	検出レベル 115 V ※ 検出レベル: 115V(200V系)、230V(200V系)	検出時限 1.0秒
UVR	検出レベル 80 V ※ 検出レベル: 80V(200V系)、100V(200V系)	検出時限 1.0秒
OFR	検出レベル 別紙1-4参照 H2 ※ 検出レベル: 51.2Hz(標準動作範囲: 48.0Hz~52.8Hz) 54Hz、1.0秒の検出時間から検出レベルは、検出レベル	検出時限 1.0秒(0.5秒でも可)
UFR	検出レベル 別紙1-5参照 ※ 検出レベル: 57.2Hz(標準動作範囲: 54.0Hz~60.4Hz) 54Hz、1.0秒の検出時間から検出レベルは、検出レベル	検出時限 2.0秒 (別紙1-5参照)
能動的方式	方式の種類 ☒ ステップ注入付周波数フィードバック方式 ※ 2024年4月の時点は第3ステップ注入付周波数フィードバック方式のみが適用されます。 ※ 検出レベルは、メーカーの出荷時設定から変更して入力してください。 ※ 検出レベルが「-」の場合は「0」と入力してください。 ※ 検出レベルが「±0.0%」の場合は「0.0%」と入力してください。 ※ 検出レベルが「0.0%」の場合は「0.0%」と入力してください。 検出レベル 1.2Hz	
単独運転検出機能	方式の種類 ☒ 電圧位相跳躍検出方式 ※ 検出レベルは、メーカーの出荷時設定から変更して入力してください。 ※ 検出レベルが「-」の場合は「0」と入力してください。 ※ 検出レベルが「±0.0%」の場合は「0.0%」と入力してください。 検出レベル 別紙1-10参照	
自動電圧調整装置 (※1: 自動電圧調整機能)	☐ 電圧調整装置の機能 ☐ 電圧調整機能 ※ 別紙1-6参照	
停電後の投入禁止時間	検出時限 300秒 停電後の投入時間 200秒	

※ 太陽光発電設備で電力一定制御運転を有する場合は、必ず95%(発電機から見て進相)を設定

1 戻る 入力クリア 一時保存 次へ

※出力制御準備に伴うDMを受領された事業者さまおよび、既連系でオンライン化を実施される事業者さまは、「表紙(様式1)」と「仕様確認依頼書(様式2)」の提出をお願い致します。
新規連系の事業者さまは、「仕様確認依頼書(様式2)」のみ提出をお願い致します。

2026年3月9日

出力制御機能付PCSの仕様確認依頼書

関西電力送配電株式会社 御中

貴社の託送供給等約款に基づき、「出力制御機能付PCSへの切替」に関して、以下の通り、準備が整いましたので仕様の確認をお願い致します。

記

(1) 発電事業者名		
(2) 発電設備設置場所		
(3) 契約容量の変更	有 ☐	無 ☒
(4) PCS本体の取替	有 ☐	無 ☒
(5) 管理番号	※DM管理番号、お客さま番号、供給地点特定番号のいずれかを記入ください。	
(6) 発電所ID送付先アドレス	会社名： 氏名： Email： ※たくそう君受付の場合は、当該項目は記載不要、入力されたとしてもたくそう君での回答となりますのでご了承下さい。	

※本様式にて取得した個人情報、再エネ出力制御準備に係る連絡にのみ利用し、当該目的外には利用しません。

以上

【関西電力送配電記入欄】

受付年月日	年 月 日																		
受電地点 特定番号	送配電 コ-ト ^o	電 圧	お客さま番号												L/G	予備 コ-ト ^o			

出力制御機能付 P C S の仕様確認依頼書

1 発電所名 ※発電所名が無い場合は、発電事業者名を記載	
2 出力制御スケジュール運用方法 (いづれか選択してください)	☒ 更新スケジュール(インターネット回線有)(原則こちらを選択)※4 ☐ 固定スケジュール (インターネット回線なし) ※原則、更新スケジュールを選択。 固定スケジュールは山間部等でインターネットが構築できない場合のみ選択が可能です。その場合、連系立会が必要。なお、「ノンファーム型接続」では選択できません。 ※更新スケジュールを選択された方で、発電開始当初からインターネット環境の構築が困難な場合は、下記の「固定スケジュール」で発電開始し、後日更新スケジュールに変更」を選択してください。その場合も、連系立会が必要。 ☐ 固定スケジュールで発電開始し、後日更新スケジュールに変更
3 発電所ID 新規発行必要数 (設置される出力制御ユニットの台数と同等の数を記載下さい。)	(個)

4.PCS等系列単位の諸元一覧 ※組合せのパターンが複数ある場合は行を分けてください。

設備区分	出力制御ユニット番号 (発電所ID発行単位) [台目]	契約容量 [kW]	適用ルール ※ 1	PCS番号	PCS容量[kW]		P ⁺ 補容量[kW]		出力制御機能付PCS ※3 メーカー名・型式 (機器構成単位で記載) ※出力制御ユニットの型式を登録願います。記載する型式等が不明の場合は製造メーカーさまへご確認下さい	備 考 ※出力制御機能以外の仕様変更 (連系協議関連事項のみ)※ 2 など
					変更前	変更後	変更前	変更後		
									PCS狭義 (メーカー) パナソニック エレクトリックワークス株式会社 出力制御ユニット (メーカー) パナソニック エレクトリックワークス株式会社 電力計測制御(電力検出)ユニット品番	
									PCS狭義 (メーカー) 出力制御ユニット (メーカー)	
									PCS狭義 (メーカー) 出力制御ユニット (メーカー) 出力制御機器は広義認証取得済みの機器をご使用ください。 24年度eneplat(LJRE32C/3HC)と 25年度パナソニック(VBPC244/55GM4(T,H)、VBPC230/40/55NC4) の組合せの場合、個別協議となります。別紙2をご確認ください。	
									PCS狭義 (メーカー) 出力制御ユニット (メーカー)	
									PCS狭義 (メーカー) 出力制御ユニット (メーカー)	

- ※ 1 出力制御の適用ルールを記載 (対象外、旧、新、無制限・無補償のいずれかを記載) してください。
- ※ 2 出力制御機能以外の仕様変更 (連系協議関連事項のみ) がある場合は資料を添付してください。
(連系協議での取決事項等から逸脱していることが確認された場合は、保安上の問題から発電停止に向けた調整をさせていただくことがあります)
- ※ 3 出力制御機能付 P C S の出力変化時間は 1 0 分に設定してください。
- ※ 4 出力制御機能付 P C S の設置及び設定 (インターネット回線構築を含む) は発電開始までに実施ください。弊社にて設置完了(アクセスログ)が確認出来ない場合、連系開始をお断りする場合がございます。
ただし、住宅新築や転居などやむを得ない理由により、インターネット回線構築が発電開始時に間に合わない場合で、必ず固定スケジュールを設定してください。その場合、連系立会が必要となります。

【関西電力送配電記入欄】

別紙1

※認証切れの品番を連系申し込みする際は、製造年月日証明書を添付してください。

機種別定格値一覧表

	①型式	②認証番号	③定格出力	④OFR	⑤UFR	⑥自動電圧調整装置	⑦設定力率	⑧力率100%時の容量	⑨力率95%時の容量	⑩検出レベル	⑪蓄電池出力	⑫発電機型式		
パワステS+	LJRC41 / 42 (蓄電池容量3.5kWhの場合)	MD-0038	5.5kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	5.5kW	5.8kVA	8°	1.50kW	LJB1235 or LJB1335	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量5.6kWhの場合)											2.00kW	LJB1256 or LJB2256	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量6.3kWhの場合)											2.00kW	LJB2263 or LJB2363	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量7.0kWhの場合)											3.00kW	LJB1235 or LJB1335 ×2台	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量9.1kWhの場合)												LJB1235 or LJB1335/LJB1256, LJB1235/LJB2256	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量9.8kWhの場合)											3.50kW	LJB1235 or LJB1335/ LJB2263 or LJB2363	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量11.2kWhの場合)											3.50kW	LJB1235 or LJB1335/ LJB2263 or LJB2363	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量11.9kWhの場合)											4.00kW	LJB1256 or LJB2256 ×2台	
	LJRC41 / 42 (蓄電池容量12.6kWhの場合)												LJB1256/LJB2263 or LJB2363, LJB2256/LJB2263	
V2H蓄電eneplat (22年度モデル)	LJRE31B / 32B (蓄電池容量3.5kWhの場合)	MD-0058	6.0kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	6.0kW	6.3kVA	8°	4.00kW	LJB2263 or LJB2363 ×2台	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量6.3kWhの場合)												LJB1256/LJB2263 or LJB2363, LJB2256/LJB2263	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量6.7kWhの場合)											4.00kW	LJB2256/LJB2263 ×2台	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量7.0kWhの場合)												LJB2263 or LJB2363 ×2台	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量9.8kWhの場合)											1.5kW	LJB1335	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量10.2kWhの場合)											3.0kW	LJB2363	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量12.6kWhの場合)											3.0kW	LJB1367	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量13.0kWhの場合)											3.0kW	LJB1335 ×2台	
	LJRE31B / 32B (蓄電池容量13.4kWhの場合)												LJB1235/ LJB2363	
V2H蓄電eneplat (24年度モデル)	LJRE31B / 32B (蓄電池容量13.4kWhの場合)	MD-0065	6.0kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	6.0kW	6.3kVA	8°	LJB1367	LJB1367	
	LJRE32C / 3HC (蓄電池容量6.4kWhの場合)											4.5kW	LJB1235/ LJB2363	
	LJRE32C / 3HC (蓄電池容量6.7kWhの場合)											4.5kW	LJB1235/ LJB1367	
	LJRE32C / 3HC (蓄電池容量12.8kWhの場合)											6.0kW	LJB2363 ×2台	
	LJRE32C / 3HC (蓄電池容量13.1kWhの場合)											6.0kW	LJB2363/ LJB1367	
	LJRE32C / 3HC (蓄電池容量13.4kWhの場合)											6.0kW	LJB1367 ×2台	
創蓄連携システムT	LJPB32D	MD-0078	5.5kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	5.5kW	5.8kVA	8°	3.0kW	LJB2364C or LJBH364C	
	産業用蓄電システム 単相連系タイプ(V2X対応)	MD-0062	6.0kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	6.0kW	6.3kVA	8°	3.0kW	LJB1367C	
												LJRE32C / 3HC (蓄電池容量12.8kWhの場合)	6.0kW	LJB2364C or LJBH364C ×2台
												LJRE32C / 3HC (蓄電池容量13.1kWhの場合)	6.0kW	LJB2364C or LJBH364C / LJB1367C
LJRE32C / 3HC (蓄電池容量13.4kWhの場合)												6.0kW	LJB1367C ×2台	
産業用蓄電システム 単相連系タイプ(V2X対応)	LJPCT2 (蓄電池容量6.3kWhの場合) (組合せ品番: XLJVL06A/XLJVL06AE パッケージ型番: PLJ-PCT2063)	MD-0062	6.0kW	61.2Hz	57.0Hz	2秒	進相無効電力制御・ 出力制御機能 (有効電力制御)	95%	6.0kW	6.3kVA	8°	5.9kW	LJB3497	
	LJPCT2 (蓄電池容量12.6kWhの場合) (組合せ品番: XLJVL12A/XLJVL12AE パッケージ型番: PLJ-PCT2126)											3.0kW	LJBQT63	
												6.0kW	LJBQT63 ×2台	

※パワステS+：蓄電池用コンバータ+蓄電池を接続する場合。パワステS+単体設置(蓄電池なし)の場合は、パワコン用一覧表を参照ください。

※V2H創電eneplat：蓄電池用コンバータ+蓄電池を接続する場合。パワーステーション単体設置(蓄電池なし)の場合は、パワコン用一覧表を参照ください。

※創蓄連携システムT：蓄電池を接続する場合。パワーステーション単体設置(蓄電池なし)の場合は、パワコン用一覧表を参照ください。

- ①型式 設置される機種をご記載ください。
- ②認証番号 仕様書の取得認証のページの「ET認証」の「認証登録番号」を参照
- ③定格出力 仕様書の定格仕様のページの「定格出力有効電力」の欄を参照(力率100%時の値を記入)
- ④⑤OFR、UFR 仕様書の保護機能のページの「OFR」「UFR」の欄を参照
- ⑥自動電圧調整装置 仕様書の保護機能のページの「電圧上昇抑制機能」を参照
- ⑦設定力率 電力会社の指示に従ってください。整定範囲は仕様書の定格仕様のページの「出力基本波力率」の欄を参照。
- ⑧力率100%時の容量 仕様書の定格仕様のページの「定格出力有効電力」の欄を参照(力率100%時の値を記入)
- ⑨力率95%時の容量 仕様書の定格仕様のページの「定格出力皮相電力」の欄を参照(力率95%時の値を記入)

別紙2

24年度モデルeneplatと25年度モデルパワーコンディショナの組合せの場合、以下ご参考いただきご記入ください。

品番 組合せ		eneplat品番: LJRE32C/LJRE3HC パワコン品番:VBPC255GM4T、VBPC255GM4H、VBPC244GM4T、 VBPC255GM4、VBPC244GM4 VBPC255NC4、VBPC240NC4、VBPC230NC4
系 統 連 系 申 請 記 載 内 容	制御UT	BLJNR01D
	通信/ ユーザインター フェース	(UT1) MKN713、MKN713050、MKN704、 MKN704050、MKN705 (UT2) MKN714、MKN714050、MKN706、 MKN706050、MKN707 ご採用品番いずれか記載
	計測UT	(UT1) MKN7300S1 + MKN7300S2、 MKH73001S1 + MKN7300S2、 NKH73002S1 + MKN7300S2 (UT2) MKN7360S1、MKN7350S1、MKN733 ご採用品番いずれか記載